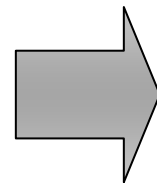


オリンピック・国体につながるスポーツの振興

(3か年事業費: 218億円)

「10年後の東京」の目標

- ジュニア期からのアスリート育成システムが確立し、東京で育ったアスリートが世界で活躍
- 誰もが身近にスポーツに親しめる仕組みが整い、スポーツ実践層のすそ野が拡大
- スポーツを通じて世界各国の将来を担う子どもたちの育成に貢献



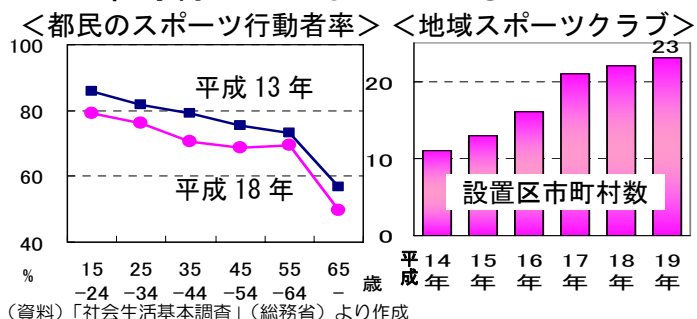
3年後の到達目標

- 地域スポーツクラブを40区市町村に設置
- アジアユースパラリンピックの開催(平成21年度)
- ジュニアスポーツアジア交流大会の拡充
- 東京国際ユースサッカー大会の開催(平成20年度～)
- 東京国体に向けた準備の推進

現状と課題

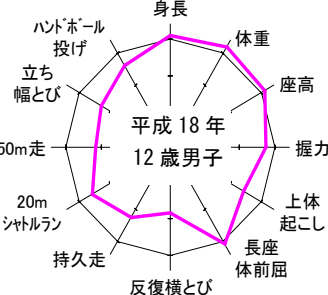
◇都民のスポーツ離れ

- ・ 過去1年間にスポーツを行った都民の割合は、5年前と比べて低下
- ・ 地域スポーツクラブの設置は23区市町村にとどまっている



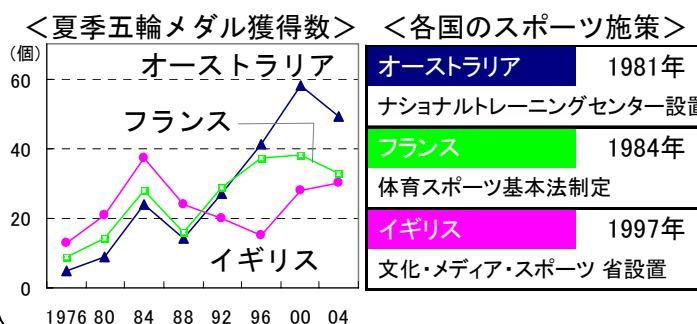
◇子どもの体力低下

- ・ 東京都の子どもの体力は、全国平均を下回る



◇アスリートの養成

- ・ 先進国ではアスリートの総合的な支援・育成が効果をあげている



3か年の事業展開

東京育ちのアスリート養成

- 東京都ジュニア強化選手の指定
- 競技別一貫指導プログラムの策定支援・普及
- スポーツドクター等による医・科学サポート



誰もがスポーツを楽しめる環境を整備

- 地域スポーツクラブを40区市町村に設置
- 校庭芝生化により子どもが体を動かす環境を整備



スポーツを通じた国際交流と次世代育成

- アジアユースパラリンピックの開催
- ジュニアスポーツアジア交流大会の種目拡大
 - ・ 指導者、選手の研修会実施
- 東京国際ユースサッカー大会の開催

東京マラソンや情報発信の強化によるスポーツムーブメントの喚起



○東京マラソンの開催

- ・ 東京マラソンと大マラソン祭りの実施
- ・ スポーツボランティアの参加促進



○スポーツ情報のホームページ開設など各種広報媒体を活用した発信力強化

2013(平成25)年 東京国体

○国体に向けた競技施設整備

- ・ 区市町村が行う競技施設整備への補助制度を創設
- ・ 都立体育施設等の整備

○都民が参加できるデモンストレーションとしてのスポーツ行事の種目選定

○国体と全国障害者スポーツ大会との一体的運営を検討

平成20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
開催申請(6月)		開催決定、実行委員会設立		リハーサル大会	東京国体開催
区市町村における競技施設整備への支援					

2016(平成28)年 東京オリンピック・パラリンピック

都民・国民全体で盛り上げるオリンピックムーブメント

(3か年事業費：56億円)

「10年後の東京」の目標

- 2016年東京オリンピックを実現し、東京の変革を進めることで、21世紀の新たな都市モデルを提案する。

3年後の到達目標

- オリンピックムーブメントの推進によるオリンピズムの普及・啓発
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の招致成功（平成21年度）

3か年の事業展開

21世紀の新しい都市モデルを構築
「10年後の東京」を実現

人を育て、緑を守り、都市を躍動させるオリンピック

- ◇アスリートが最高の力を発揮し、子供たちに夢と希望を与え、**「人を育てる」**
- ◇世界最高水準の環境技術と政策で、**「緑を守る」**
- ◇活力に満ちた人と街が、**「都市を躍動させる」**

総力をあげて日本にオリンピックを招致

- 都市選考を勝ち抜く「立候補ファイル」を作成
- 世界一コンパクトなオリンピックをめざし、スタジアムを中心とした**8キロ圏内**に大半の競技会場を配置
- 世界最高水準の環境技術の世界に発信し、水と緑豊かな都市で開催するオリンピック
- 国の全面的な支援を受け、**国家プロジェクト**として推進



- 海外招致活動を展開
北京オリンピックやシニア女子レスリング世界選手権等の国際スポーツ大会で東京の魅力をPR

オリンピックムーブメントの波を全国へ

あらゆる媒体を活用した効果的なPRの展開

- 招致大使やアスリートアンバサダー、ふるさと特使によるPR
- 立候補都市承認（6月）、北京オリンピック（8月）、1年前Bid Day（10月）を連動させたイベントを開催
- 各地のまちづくり協議会と連携し、まちのディスプレイ、イベントなどエリア一帯で展開、ムーブメントの面的な広がりを演出
- 全国自治体と連携し、夏祭り、花火大会にオリンピックキャラバン隊を派遣
- 全国の体育施設、体育系団体と連携し、利用者・来場者にPR展開等



都の資源を活用したムーブメント展開

- 東京マラソンなどのスポーツイベント、地球温暖化対策イベントなどを通じた盛り上げ
- 都庁舎ライトアップ、ラッピングバスなどのPR
- 大規模文化プロジェクトと連携した取組

区市町村と連携したムーブメント推進

- 住民参加型のスポーツイベント、シンポジウム等

取組のスケジュール

20年

- 1月 申請ファイル提出
- 6月 立候補都市承認
- 8月 北京オリンピック

21年

- 2月 立候補ファイル提出
- 10月 IOC総会開催都市決定
(10月2日：コペンハーゲン)

22年以降

海外招致活動の展開

立候補ファイル作成

オリンピックムーブメントの推進